

工藤篤子 贊美コンサート

10月
午後4時から
14日

～地中海ソプラノの
深く美しい歌声と
メッセージ～



今秋も工藤篤子さんをお迎えして、心に響くコンサートを開催します。柔らかく明るい歌声を聞きながら、癒しのひと時をお過ごしください。今回は、被災地でのコンサートでも共演された、キャサリン・ポーターさん（ハープ）・野田常喜さん（ピアノ）とのコラボレーションをお楽しみいただけます。ご期待下さい。



キャサリン・ポーター
(ハープ)

野田常喜
(ピアノ)

プロフィール…工藤篤子

札幌大谷短大声楽専攻科及び研究科卒業後、マドリッド国立声楽院に留学。1987年、スペイン・ヤマハコンクール第1位、ONCEコンクール2位。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして、またスペイン歌曲のスペシャリストとして、ヨーロッパ各地の国際フェスティバルに招かれる。2000年、「工藤篤子音楽ミニストリーズ」を設立。2011年「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」と改名。世界の各地で賛美を通して神の愛と救いを伝えている。ドイツ、ハンブルク市在住。

第14回 世界食料デー 宝塚大会

～With your hand, For one life（あなたの手でひとつの命を）～

10月
午後2時から
20日

10月16日は「世界食料デー」。世界の食料問題を考え、行動する日として国連が制定した日です。飽食といわれる社会がある一方、紛争の中で飢餓に苦しみ、平和を知らずに命を落とす子どもたちの現状を知るよい機会です。子どもたちの笑顔を取り戻すために、ぜひご参加ください。

基調講演・現地報告：吉田知基（日本国際飢餓対策機構スタッフ）

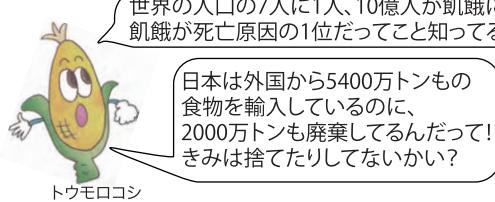
ミニコンサート：安田美穂子（ソプラノ）

ミニバザー：アフリカの手工芸品、フェアトレード商品

西谷の秋の味覚、ゆとりの会（中州老人会）による手工芸品



南スーダン・マブイ学校の少女



宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

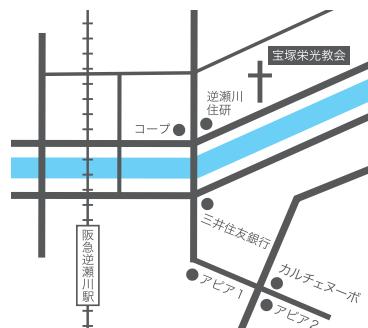
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail : iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
わたしたちは統一教会、ものの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ボットキャスト
始めました。
ホームページから
利用できます。



いのちの光をいただいて

新約聖書の福音書を読むと、多くの人々がイエス・キリストと出会っていますが、様々な出会い方があることに気がつきます。自分から求めてキリストに会いに行つた人、たまたまキリストに出くわした人、誰かに誘われてキリストに会った人など、様々です。しかし、なかには無理やりキリストのもとに連れてこられた人もいました。それは、ヨハネの福音書8章に登場する、罪を犯した女性でした。

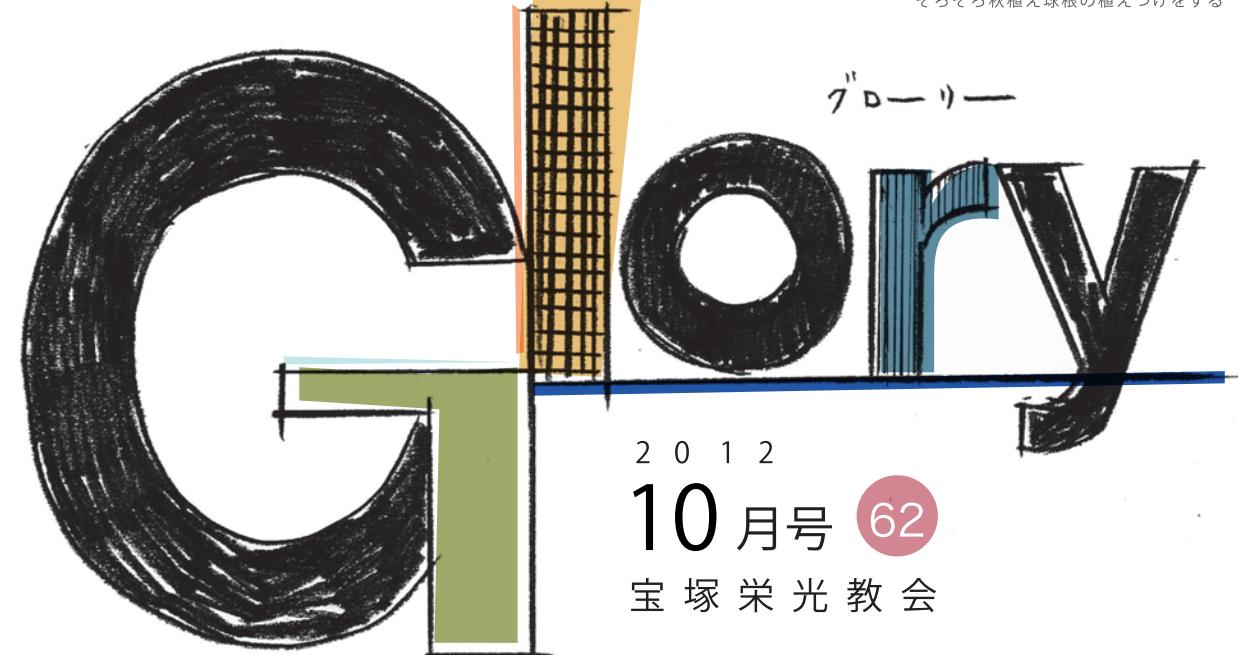
彼女は、罪を犯している現場をパリサイ人たちに捕らえられ、キリストの所に連行されました。パリサイ人たちは、キリストに、彼女にどう対処したらよいかを尋ねました。これは、キリストを窮地に陥れる罠（わな）だったのですが、キリストは、“あなたがたの中で罪のない者が、まずこの女に石を投げつけるがよい”と言われました。これを聞いた彼らは、一人、また一人とその場を立ち去り、結局、彼女を処罰する者は誰もいませんでした。

キリストは、「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません」と言われ、彼女を赦

されました。赦されるはずのない罪人を、キリストは無償で赦されたのです。そして、その後でこう言われました。

「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです」（ヨハネの福音書8章12節）。光は暗闇を照らします。キリストは、罪のために真っ暗になっていた私たちの心を照らし、罪をわからせ、十字架の血潮をもって罪を赦してくださいます。罪を悔い改め、キリストの十字架を信じて、罪が赦されたら、私たちの内にもいのちの光が与えられ、世の光として輝いて生きていくことができます。

暗いニュースが報道される日が多い今日です。どこからも希望の光が見えてこない混乱した時代にあって、燐然（さんぜん）と輝く光として生きていくことができたら、どんなに素晴らしいでしょうか。自分では光を発することはできません。キリストに出会って、十字架によって罪が赦され、キリストに従っていくことによって、内にいのちの光を持つ者となさせていただきましょう。



2012
10月号 62
宝塚栄光教会

「りんご」

今年も 実りの季節を 迎えました
りんごの花便りに
胸をふくらませた日から 数ヶ月
こんなに大きく 美しく 育つまでには
雨の恵みと 日照りの恵みに加え
花摘みといわれる
人の手の業が ありました

そして 8月の太陽のエネルギーを 一杯に受けて
りんごは 成長していきます

8月には ほぼ大きさが決まってしまうそうです

9月に入り 朝夕の気温の差を くぐりぬけて
りんごは表皮に 赤いアントシアニンを
発生させるそうです

やがて 葉取り 玉回し
袋かけしたものは 袋を取りはずし
日光がよくあたるように
ひとつひとつが 手作業によっていたのです

完熟した おいしい果実になるまで
りんごはしばらく 樹上におかれます

澄み渡った 大空に
収穫を待つ りんごの赤が
まぶしく 輝きます



大地よ 恐れるな 喜び躍れ
主は偉大な御業を 成し遂げられた
野の獣よ 恐れるな
荒れ野の草地は 緑となり
木は実を結び
いちじくとぶどうは 豊かな実りをもたらす
シオンの子らよ
あなたたちの神なる主によって 喜び躍れ
主はあなたたちを 救うために
秋の雨を与えて 豊かに降らせてください

(聖書)